

平成23年4月26日定例経営会議（要約）

（平成23年4月26日 午前9時30分～12時00分）

新たな創造 変化に対応

I 開会 ～ 市長あいさつ

- ・ 厳しい三つ巴の選挙を勝利させていただき感謝する。至らぬ市長であるが、今後ご支援ご協力をいただき、東村山市をより良いまちにするべく、チーム東村山として職員全員で頑張っていきたい。
- ・ 気になる点を何点か申し上げる。新年度を迎え人事異動が行われ、前職から現職に十分引き継がれているか、各部長は把握に努め遺漏のないよう事務事業を進めていただきたい。
- ・ 後の議題にも上がるが、大震災関係の対応で今後懸念される事案が多数ある。既に顕在化しているが、国の動向として、補助金、交付金、地方交付税等が被災地への対応で重点的に配分され、あてにしていた財源が見込めない事態がおそらくかなり出るだろう。既に学校耐震、学校冷房化については、そのような動きが選挙直前から出ている。今後、各所管においてもアンテナを高くして、国都の動向・情報の把握に努めていただきたい。国の補助金がつかなければ都もつけないので、できるだけ早く情報を入手し、つかない場合は善後策について協議し、継続して進めていけるかどうかを判断したい。
- ・ この間、継続して協議してきた夏季の電力不足に向けどのように対応するか。未だ国も東京電力も具体的な方向性を明確にしていない。極力計画停電を極力しない方向とされているが、一定規模の電力を使用する事業所については、全体的に15%等の節電が呼びかけられている。総体的に不足する電力は、約1千万キロワットと言われている。当市はこれに対応できるのか、あるいは、計画停電が実施されるのか、まだわからないが、市役所として全体的にどのように節電を進めるか。一定程度すでに実施しているが、これ以上の部分をどうするか。まだ正式ではないが、一部で5月からクールビズを実施するという話もあり、当市においても具体的な対応が大きな課題となる。
- ・ 職員が市長会や自治労の斡旋、あるいはボランティアで被災地に赴くことがある。今後当市として被災地支援にどのように取り組むか、様々な可能性が考えられるであろうが、もう一歩具体的に煮詰めてほしい。どの職場も手一杯であるから厳しいと言わざるを得ないが、できる限りの支援をしていきたい。
- ・ もうひとつ、当市として「災害に強いまちづくり」も大きな課題である。私も他の市長・市議候補者も選挙戦で訴えたが、これだけ甚大な災害の直後であり、当市の「災害に強いまちづくり」は、計画を前倒して進める必要があると考えている。財政的な調整を要するので、各所管で「これだけは緊急にやったほうがいい」という事案をピックアップしていただき、一度協議して計画のローリングに入れる等、適切な対応について判断をしたい。

当面で考えられるのは、防災安全課の配置が本庁舎4階のままがいいのか。庁舎の耐震化計画を作るとなると相当な時間がかかるが、まずは調査・診断して、防災安全課を移設することが有効かどうかを考えなければならない。防災無線のデジタル化も計画を前倒しして実施したいが、どのようにデジタル化を進めるかをよく検討し、できるだけ防災無線は計画を前倒しして進めていただきたい。ツイッターでも防災情報を流しているが、これらについて市民からの反応があれば教えていただきたい。諸々、ゴールデンウィークを挟むが第1四半期中には一定の目途を立てて9月補正で対応するか、あるいは実施計画の運用で処理するか等を見極めたい。

II 協議事項

(1) 東日本大震災対応関係について

①震災に伴う被災避難者の所在地等の情報把握について

・総務省から東京都を通じ避難者の所在確認についての通知があった。避難者からの届出はあくまでも任意であるが、避難先の市町村は4月25日には受付を開始し、本人の同意を得て総務省に報告する。当市においては、21日にホームページとツイッターに案内を掲載するとともに、昨日より市民課で配布する「市民のしおり」にチラシを入れ周知している。今後も、5月1日号市報と、行政窓口・出先機関でのチラシにより広く周知を図る。

②震災による被災避難者の住宅等の受入について

・避難者からの相談については、民間で提供できるアパートや空き家を紹介し現地の案内まではしているものの、今のところまだ入居はない。

・憩いの家と白州山の家については、4月末以降も5月1日から受付・利用できる旨を既にホームページに掲載している。東京都の萩山実務学校内の施設の提供と受け入れの可能性について、教育部で確認と報告をする。

③義援金について

・義援金については、4月25日現在で1千480万円集まっている。市内の団体・事業所等が集め市を経由しない義援金についても照会し、現在までに620万円を確認しており、合計2千100万円となっている。

・市での受付は4月30日まで市役所を含め11ヶ所で行っているが、これを、市役所本庁舎のみに集約し、6月30日まで延長して行う。

④ツイッターについて

・ツイッターは、計画停電の情報提供を主な目的として始めたが、現在は、放射能汚染関係の情報提供が主となっている。また、被災者への情報提供や連絡等も行っている。フォロワーは、現時点で約600人である。

⑤その他

- ・放射能について、野菜等の農畜産物に対する検査を東京都が実施した。何ヶ所かでほうれん草、小松菜、水菜で実施したが、東村山市では4月20日にほうれん草を検査した。その結果、放射能ヨウ素、放射性セシウムとも暫定規定値を大きく下回った。東京都のホームページに掲載されているのでリンクし、ツイッターにも掲載している。
- ・保育園関係から問い合わせが来ている。放射線測定関係の専門事業者へ測定機の手配を打診している。手に入るかどうか今月末に返事が来る。
- ・先日の臨時総務会議の議題としたが、市長会から被災地への職員の派遣依頼が来ている。東村山市を含む多摩北部の5市で1つのブロックを構成し、第1陣は各市1人×5市で5人のチームで大槌町へ、第2陣以降は各市2人×5市で10人のチームで岩手県釜石市へそれぞれ派遣する。第1陣は6日間の予定で今月28日に車で大槌町へ向け出発する。

Ⅲ 報告事項

(1) 市議会6月定例会提出予定案件・所信表明事項について

- ・各部、最終確認をおこなう。

(2) 平成23年度緊急連絡網について

- ・一部の連絡順序を見直した。

(3) その他

①節電対策について

- ・現時点での情報を整理した上で今月中に環境行政推進本部を開き、さっそく夏季節電の検討と対策に取り組む。

②第50回市民産業まつり記念事業について

- ・50年目の産業まつりの開催について、JA、商工会、市で検討中である。

③人事評価に基づく査定昇給

- ・人事評価に基づく査定昇給の説明会を行った。

Ⅳ その他

(1) 都市計画道路について

①飯能所沢線の受け入れについて

- ・東京都事業の飯能・所沢線について、5月20日（金）、21日（土）に第二中学校体育館において、都市計画素案の説明会を行う。

②東村山駅周辺まちづくりについて

- ・都市計画道路3・4・10号線ほか2路線の都市計画道路について、5月21日（土）に中央公民館ホールにおいて説明会を行う。
- ・東村山駅周辺の整備について、全庁職員の意見も反映した案を、5月1日市報で公表し、21日まで市民から意見募集する。

(2) 議会運営マニュアルについて

- ・議会運営マニュアルについて、改選期を迎え、これまでの4年間の改正点を更新し新たに作り直したので、新任議員、理事者、管理職に配付する。

(3) その他

- ・「東村山の伊達直人氏」から寄附された学用品について、現在東村山に避難して来ている小中学校の児童生徒の7名に対し、4月22日に校長から一人ひとりに渡すことができた。
- ・「菖蒲まつり」を6月4日から19日の16日間、例年どおり開催する。昨年同様に観光情報コーナーで展示するほか新企画も取り入れる。今年は、駅西口の交差点の三角地にテントを張り、案内マップやパンフレット等を配布して案内するとともに、被災地の産品を販売する等、震災復興支援を掲げる様々な催しを実施する。
- ・久米川駅北口で29日（金）10時から、市産業振興課とJAみらいの主催で東村山花卉研究会と東村山市朝市会による花と野菜類のチャリティーバザールが開かれる。収益を震災復興支援として被災地に送る。

V 閉会 ～ 副市長

以上